



田植え前の春の風物詩

足立区都市農業公園

田んぼに広がるピンクのレンゲ絨毯！^{じゅうたん}

令和6年4月18日 送付枚数：1枚

！ここがポイント！

■昔はよく見かけたレンゲ

昔、レンゲはよく有機肥料として使われ、休閑期の田んぼに咲くレンゲ絨毯をいたるところで見かけました。現在は、田んぼの減少や化学肥料の普及などでレンゲ絨毯は減少し、見る機会がなくなっています。

■きれいなだけじゃない！肥料としての役割

レンゲはマメ科の植物で根に窒素を固定します。田植え前に土と一緒に混ぜ込むことで、栄養豊富な土となります。当園では無農薬・無化学肥料の米づくりを実践し、自然の力を利用した農業に取り組んでいます。

■足立区の明治～昭和の原風景と一緒に写真撮影

足立区の昔の田んぼ風景を思い起こさせるレンゲと古民家をバックに写真撮影ができます。景観を保つために柵は設けておらず、すぐそばでレンゲを観察・撮影することが可能です。

◆田植え前の春の風物詩、レンゲ

化学肥料が簡単に手に入る前は、栄養豊富な土を作るため、レンゲが有機肥料として活用されていました。そのため、休閑期の田んぼにレンゲを植えることは昔によく見られた光景です。現在、区内にある田んぼは2箇所のみで、そのひとつが都市農業公園内にあります。貴重なレンゲの咲いた田んぼを、ぜひ取材・報道をお願いします。

可愛らしく咲くレンゲ。田んぼ一帯がピンクの絨毯のよう。



足立区都市農業公園（足立区鹿浜 2-44-1）

■ 開園時間：午前9時から午後5時まで

■ 入園料：無料

■ 休園日：毎月第1・3水曜



古民家とレンゲ。
足立区の昔の田んぼの風景を思い起こさせます。

田植え前にレンゲを混ぜ込んで肥料とし、土に栄養を与えるという昔ながらの方法でお米を作っています。



■ 本件に関する問い合わせ先

足立区都市農業公園 責任者：浅羽 広報：木村・林 ☎03-3853-4114

■ 発信者

政策経営部 報道広報課 報道担当 谷内 ☎03-3880-5816 ☎070-5598-7874